

●●特別支援教育の充実に向けて（「学校生活支援シート」の活用）●●

特別支援学校教育担当課長 山本 優

皆さんは、小学校入学から高校卒業までの間、何人の先生（学級担任）に御世話になりましたか。私は7人です。小学校時代が5人、中学校と高校時代はそれぞれ1人。いずれも指導力に優れた魅力的な先生で、今思えば、こうした先生方が「バトン」をつないで私を育てて下さったのだと思います。

特別な支援が必要な児童・生徒の自立と社会参加に向けては、この「バトンをつなぐ」ということがとても重要です。そして、この「バトン」の役割を果たすものが「個別の教育支援計画」です。「個別の教育支援計画」についてはこれまで、「作成の仕方や効果がよく分からない」といった声が寄せられていました。これを踏まえ、都教育委員会は平成23年度から3年間をかけて「個別の教育支援計画の充実事業」を推進し、昨年度末、その研究成果を指導資料（『これからの個別の教育支援計画』）にまとめ、都内公立学校の全ての先生に配布したところです。

キーワードは「つながり」と「安心」です。大切なことは、一人一人に有効な指導・支援の内容や手だてを確実につなぎ、保護者に安心をしてもらうことです。そのためにも、今後は、進級や進学時の引継ぎのツールとして「個別の教育支援計画」を明確に位置付け、教員間や学校間の連携を一層強化しなければなりません。私たちは、「個別の教育支援計画」というバトンを確実につなぎ、特別な支援を必要とする児童・生徒一人一人の学校生活がより豊かなものとなるよう支援していく必要があるのです。

たくさんの先生が、思いや願いを込めた「バトン」をつないで一人の子供を育てていく。素晴らしいことです。教育とは、昔も今もこれからも、人と人とのつながりが支える魅力的で創造的な営みなのです。都教育委員会では、こうした願いを込めて、従来の「個別の教育支援計画」の名称を「学校生活支援シート」に改め、様式も改善しました。今後、特別な支援を必要とする児童・生徒や保護者のために、多くの学校で「学校生活支援シート」が作成・活用されることを期待します。

目次

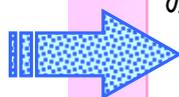
- 平成26年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を7月3日（木）に実施します。…2
- 「特別支援教育の窓」— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して — ……3
- 「東京都道徳教育教材集」の活用の推進・ ……4

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載します。

（東京都教育委員会ホームページアドレス
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

学び応援ページを御活用ください！



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

平成26年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を7月3日（木）に実施します。

東京都教育委員会は、平成26年7月3日（木）に、都内全公立小・中学校の小学校第5学年の児童と中学校第2学年の生徒を対象に、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施します。本調査のねらいは、児童・生徒の学習上の課題やつまずきの状況を把握することにより、確かな学力の定着と伸長につながる教育行政施策の立案・実施、学校における組織的な授業改善、家庭と連携した学習環境の整備等を実現することにあります。円滑な実施に向けて、御理解・御協力をお願いいたします。

7月3日に調査を実施します。調査内容は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び読み解く力に関する定着状況を把握するための内容、意識調査（質問紙調査）です。調査終了後は、既習事項の復習や課題の見られる内容の確認・定着のために、調査問題を授業等で御活用ください。

調査の流れ

調査を実施します

調査の採点をし結果を分析します

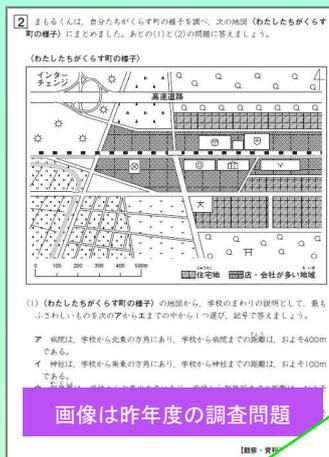
課題や授業改善のポイントを把握します

課題に応じた手立てを工夫し授業改善を実践します

確かな学力の定着と伸長へ

各校での採点作業が円滑に行われるよう、出題のねらいや誤答の要因等を示した「採点要領」を配布します。なお、この「採点要領」は、採点終了後、学習のつまずきを分析する際にも、御活用ください。

調査結果を個人票プログラムに入力し、個人票を作成します。児童・生徒一人ひとりに自己の課題を把握させ、今後の学習に目標をもって取り組ませるための資料として御活用ください。



調査結果の分析から児童・生徒の学力の定着状況やつまずきを把握し、その解決に向けた手立てを考えます。

その具体的な授業改善策等を反映させて、「授業改善推進プラン」を見直し、より児童・生徒の実態に即した授業等を行うための準備をします。

「授業改善推進プラン」に基づき、確かな学力の定着と伸長に向けた取組を、授業等の中で実践していきます。

都教育委員会は、分析結果や授業改善のポイントをまとめ、11月に報告書を各学校に配布するとともに、調査結果説明会を実施します。また、報告書の内容の一部をまとめたリーフレットを、全ての先生方に配布します。

調査問題や解答等は、調査終了後、「学び応援ページ」に公表します。「学び応援ページ」には、過去の調査問題や調査結果等も掲載しています。ぜひ御覧ください。



「特別支援教育の窓」

— 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して —

地域で共に暮らすために ～副籍制度を利用した交流活動～

- 副籍制度は将来の「共生地域」の担い手となる人材の育成を目指します。



東京都教育委員会では、新しい副籍のガイドラインとなる「副籍ガイドブック」を発行いたしました。
私達に求められることは、子供同士の「ふれあい」を大切にした交流活動を創意工夫することです。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/26hukuseki_guide.htm

■ 副籍制度を利用した交流活動は「心の教育」です。

子供同士のつながりを深めるためにはどのようにすればよいでしょう

たとえば・・・



地域指定校の児童・生徒



主体的にかかわる工夫

交流活動の内容（ゲームを取り入れた活動等）を地域指定校の児童・生徒が話し合い、提案することで地域指定校の児童・生徒が、より主体的に参加することができます。



特別支援学校の児童・生徒



得意なことを活かす工夫

特別支援学校の児童・生徒が得意なことや好きなことを活かした交流活動を工夫することで、障害のある児童・生徒が自信をもって活動できます。

実際の交流の場面では

◆ 安全を最優先にする

障害のある子どもたちの活動の状況や周囲の者の支援の様子、関わり方を常に把握し、安全に活動できるように配慮します。

◆ 子供たちが主体的に活動に取り組む

活動の流れを一定にしておくことが効果的です。そうすることで、互いに見通しをもって自分から活動することができるようになります。



将来の「共生地域」の実現

- ◆ 副籍制度を通じて知り合った友達と、挨拶や言葉を交わし合ったり、遊びや地域活動に誘ったりするなど、日常的な関わりがもてる地域社会の実現



子供たち同士の自然な触れ合いができる工夫をしましょう。

「東京都道徳教育教材集」の活用の推進

東京都教育委員会では、東京都道徳教育教材集「心あかるく」・「心しなやかに」・「心たくましく」・「心みつめて」をより一層活用していただくための資料を作成しました。

1 単位時間の道徳の時間の展開を 1 枚にまとめた資料や、道徳の時間以外での具体的な活用事例を紹介した資料を、東京都教育委員会のホームページからダウンロードできます。道徳の時間や学校生活の様々な場面で御活用ください。

今年度、東京都教育委員会が実施した調査で、道徳の時間の指導について悩んでいる先生が多いことが分かりました。

どのように授業をすればいいのだろう？

普段使っている副読本だけで十分では？

道徳の時間以外でのような取組ができるのだろうか？

道徳の授業がうまくいかない。



先生方の悩みを解決し、「東京都道徳教育教材集」を活用した道徳教育を推進するための資料を作成しました。

東京都教育委員会
ホームページのトップページ
(<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)

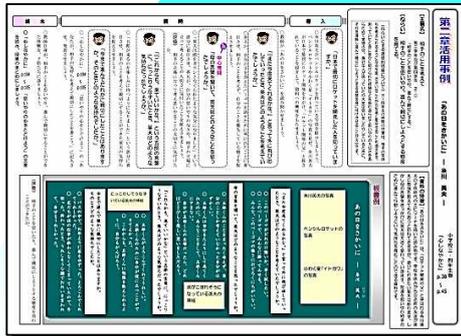


道徳教育

東京都道徳教育教材集
活用のための資料集

- 小学校 1・2 年生版「心あかるく」
- 小学校 3・4 年生版「心しなやかに」
- 小学校 5・6 年生版「心たくましく」
- 中学校版「心みつめて」

道徳の時間での活用例



展開例や板書例が、これ 1 枚に！

授業のねらいや資料の解説も！

そのまま授業に生かれます！

道徳の時間以外での活用例



具体的な取組が満載です！

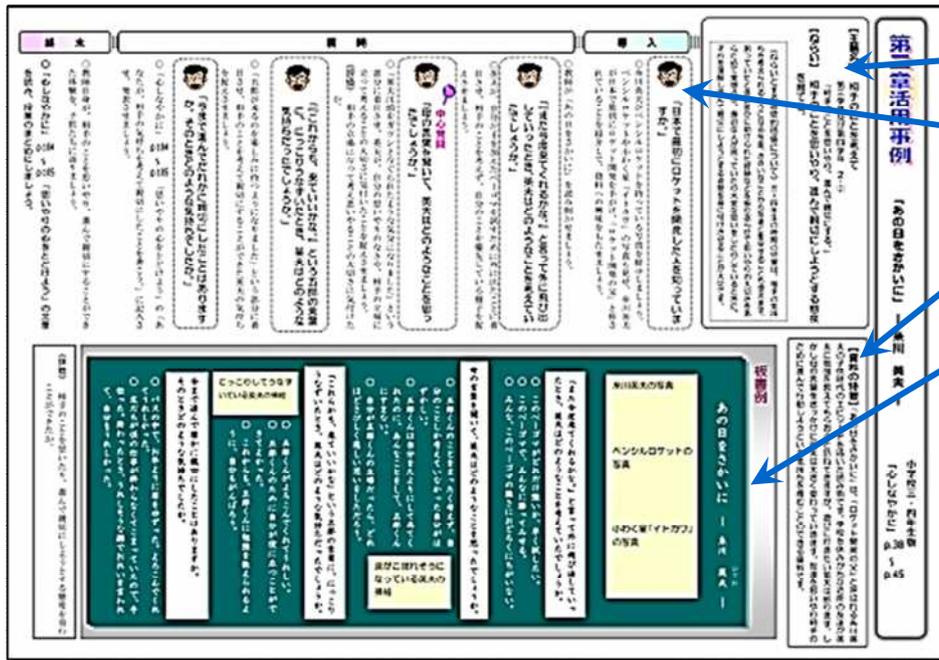
すぐできる、効果的な事例を紹介しています！

様々な場面で道徳教育の推進を！

4 冊の教材集それぞれについて、道徳の時間での活用例（7～9 例）と、道徳の時間以外での活用例（2～6 例）を掲載しています。

資料は今後も新たに加えていく予定です。

道徳の時間での活用資料



この時間のねらい

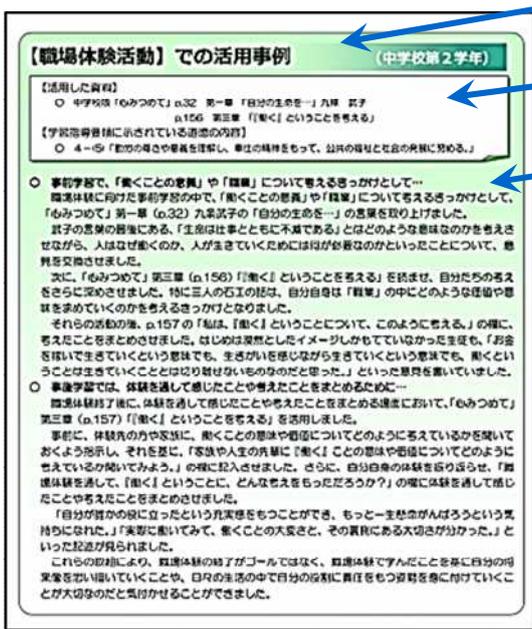
授業の展開・発問

資料の解説

板書例・予想される発言

資料は、1 単位時間の授業をA3判1枚にまとめているので、このまま指導案として活用できます。

道徳の時間以外での活用事例



活用の場面

活用するページと育成を図る道徳的価値

具体的な取組

資料は、一つの取組をA4判1枚にまとめています

遠足（校外学習）の事前学習の中で、第一章の先人のことばを引用して、仲間との協力について考えさせる取組や、職場体験活動の事後学習で第三章のワークシートに記入させて、働くことの意味について振り返らせる取組など、学校行事や生活場面に関連させて、すぐに取り組める具体的な事例を紹介しています。

東京都道徳教育教材集と併せて、国の「私たちの道徳」を効果的に活用してください。



Information

東京都教育委員会では、小・中学校における道徳の時間の指導力向上の核となる、実践力のある教員を養成していくことを目的として、「東京都道徳授業推進教師養成講座」を実施します。区市町村教育委員会や教員研究団体と連携して、確かな指導力を身に付けるための具体的な演習を中心とした内容を設定し、今年度は、平成26年8月5日・6日及び20日に開催します。詳細につきましては、各区市町村教育委員会、または教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課までお問い合わせください。